

1. 市の概要（H31年3月末現在） 2. 支援状況調査（H30年度）

| | |
|-----|----------|
| 人口 | 321,094人 |
| 保護率 | 4.00% |

| | | |
|--------------------|-------|------|
| 新規相談受付件数人口10万人当(件) | 一月当たり | 26.8 |
| プラン作成件数人口10万人当(件) | 一月当たり | 13.2 |
| 就労支援対象者数人口10万人当(件) | 一月当たり | 8.3 |
| 就労・増収率(%) | | 43.4 |

3. 実施方法について

| | |
|---------|--|
| 実施方法 | 委託 |
| 事業費 | 自立相談支援事業 61,802,546円（平成30年度） 一時生活支援事業 9,331,795円（平成30年度） |
| 理由（委託） | ・実績のある機関に委託することで、質の高い支援を実現。 ・役所に直接相談しにくい内容でも気軽な相談が可能。 |
| 課題・対応 | 【課題】 ・困りごとが深刻化してからの相談が多い。 ・8050問題など、本人以外の家族からの相談が多い。 ・県外、国外から来て居住実態のない人の相談が多い。 【対応】 ・国保料の滞納や市営住宅家賃の滞納・退去命令などを担当部署と連携して支援するとともに、深刻化する前の相談の促しや制度の周知広報に取り組んでいる。 ・高齢者担当部署・地域包括支援・保健所・ひきこもり支援・民生委員・自治会などあらゆる社会資源を活用して世帯にアプローチする。 ・各地域の事業所と初動から連携を行い、場合によっては全国の支援機関へ連絡を取りながらあらゆる工夫を試みる。 |
| 事業概要 | ・主任相談支援員1名、相談支援員7名、就労支援員4名（全員が分野横断的なマルチプレイヤーとして機能）、常勤10・非常勤2・臨床心理士1の計13名体制。 ・活発な庁内連携に参加するセンターとして、ホームレス巡回相談を含む多種多様な相談、複合的な課題が絡み合う相談を他機関と連携して総合的に支援。 |
| その他特記事項 | ・《グッジョブセンターおきなわ》というワンストップ型サービスセンターに入居、HWをはじめ10ヶ所を超える機関と一体的に活動。 ・仕組みの工夫と、最も大切なことは「人そのものを支援する」こと。 |

4. 事業実績（H30年度）

| 新規相談受付件数 | プラン作成件数 | 就労支援対象者数 | 就労者数 | 増収者数 | 市役所からのつながり |
|----------|---------|----------|------|------|------------|
| 1,032人 | 509人 | 318人 | 172人 | 39人 | 211人 |

5. 事業実施のポイント ～あらゆる連携を活用～

Point

「出張なんでも相談会」で地域に届く努力！

- ・年に5回程度、センター以外の場所に出かけてワンストップ型の相談会を実施。
- ・生活保護担当課、高齢者担当課、保健所、HW、社協、弁護士、司法書士、社労士、就労支援専門センター等と協力して地域に届く支援をその場で実施。



6. 取り組んで良かったこと

- ・困りごとを相談できる仕組みがあることを知らない人、知っていても来所できない人が、こちらから出かけていくことで相談する機会を持てる。相談から解決につながるチャンスが生まれる。
- ・いくつもの機関が協力してワンストップで相談を受けることによって、相談と解決のネットワークが生まれ、素早い解決につながる。